福島県双葉町の町民避難先を

横浜南ＲＣ蒲会長訪問する

８月 16 日現在の双葉町の避難状況は次のとおりです。

◆福島県内に避難されている方 3,092 人

（うち避難所）（722 人）

（うちリステル猪苗代）（632 人）

◆福島県外に避難されている方 3,967 人

（うち関東圏内）（3,008 人）

（うち旧騎西高校）（872 人）

◆所在不明の方 ０人

福島原発近接の双葉町住民は公的避難場所や親戚を頼り、各地に分散避難している現況です。２００キロほど南に離れた埼玉県旧騎西高校（廃高）には約９００人が家族と共に体育館などで共同生活をしております。

平成２３年９月１日　蒲隆夫横浜南ＲＣ会長と鈴木勇社会奉仕委員長は騎西高校（双葉町埼玉支所）を訪問し、双葉町の清川議長、佐々木副議長、江尻教育長、高野事務局長に　お話を伺ってきました。

横浜での我がクラブの活動では「ふるさと納税」の仕組みを活用して被災自治体へ住民税の一部が直接納付される制度利用を会員や市民にＰＲしている最中です。

さて現地情報では物品は不足がないことを知りました。家族が離散状況で子供たちの心のケアが必要なことを痛切に話されておりました。一番の被害者は子供たちです。半年以上親子離散、友達とも離ればなれの心情を思うと心が痛みます。ここ騎西高校避難場所には児童・生徒は１６０名、高校生３０名が埼玉県北部の騎西町近隣の学校に通学しています。

この８月の夏休みに日時を決め連絡の付く範囲で保護者や学友に声がけをして、この騎西町避難場所に集まり、久々に離散している学友や町内の方々が集う機会を盛大に開催されたそうです。学友同士が抱き合う光景が目に浮かびます。来春にも同じ集会を計画されています。

双葉町埼玉支所の事務局長である高野利彦氏と連絡を密にし、来春開催予定の第２回双葉町住民集会の催事に何らかのかたちで協力したいと思っております。さらに避難先の子供たちへの支援も具体的に我がクラブとして何ができるか検討中です。

横浜南ロータリークラブ
会　　長　　蒲　隆夫
社会奉仕委員長　　鈴木　勇